

平成30年度 糸魚川売れる米づくりコシヒカリ生育情報 NO. 7

平成30年7月30日
糸魚川地域振興局農林振興部

【7月30日現在の水稻生育状況（指標値との比較）】

品種・田植え日・調査ほ場	草丈	茎数	葉数	葉色
コシヒカリ（田植え日：5月2～22日） （ほ場場所：榎、東海、滝川原、成沢、西川原、根小屋）	並	やや少ない	並	やや淡い

【生育状況】

- 高温の影響を受け、穂肥をしても葉色の上昇が鈍くなっています。SPADで30～31程度のほ場が多く、一部では30を切るほ場もあります。
- コシヒカリは現時点で穂ばらみ期～出穂期直前のほ場が多く、出穂期は平年より3日程度早くなる見込みです。出穂の早いほ場では、7月31日から出穂期の見込みです。

出穂期予想

集落（地区）	出穂予想日
成沢（西海地区）	7月31日
榎（能生地区）	8月1日
根小屋（根知地区）	8月6日

集落（地区）	出穂予想日
西川原（今井地区）	8月2日
東海（早川地区）	8月1日

【今後の管理】

- **2回目の穂肥を実施していないほ場**
直ちに窒素成分で1.8kg/10a（例 越後の輝き有機50穂肥で16kg/10a）を必ず施用しましょう。
- **2回目の穂肥を実施しても葉色の淡いほ場（3回目の穂肥）**
SPADが33未満の場合は、3回目穂肥を出穂直前（走り穂）までに窒素成分で1kg～1.5kg/10a（例 越後の輝き有機50穂肥で8～12kg/10a）を遅れずに施用しましょう。
- 今年の水を入れてもすぐなくなるため、こまめな水管理をお願いします。また、夜間の気温も高い状態が続いているので可能な限り、本田の水の更新を夕方に行ってください。
穂肥は、ほ場に水をたっぷりためてから実施してください。
飽水管理は、出穂25日後まで継続しましょう。
フェーン現象の発生が予想される場合は、あらかじめほ場に水（水深5cm）を入れて湛水状態にしておきましょう。

次回の情報提供は8月20日頃の予定です。

【7月30日の生育調査結果】（東海、根小屋、滝川原、榎）は7月27日調査

ほ場場所（田植日）		榎（5/3）	西川原（5/6）	成沢（5/4）	東海（5/9）	根小屋（5/17）	滝川原（5/23）
草丈	本年値（cm）	93.8	88.9	92.4	89.3	79.7	84.5
	平年比（%）	101	97	98	98	90	99
	指標比※（%）	104	99	103	99	89	94
茎数	一株茎数（本）	19.1	16.3	17.3	19.8	15.5	20.1
	m ² あたり茎数（本/m ² ）	368	305	378	349	343	374
	平年比（%）	93	77	95	89	86	97
	指標比※（%）	99	82	102	94	93	101
葉数	本年値（L）	13.1	13.9	12.9	13.3	12.9	12.0
	平年差（L）	-0.2	+0.8	-0.3	+0.2	-0.1	-0.7
	指標差※（L）	+0.3	+1.1	+0.1	+0.5	+0.1	-0.8
葉色 SPAD値	本年値	32.2	29.7	30.9	29.6	30.5	31.5
	平年値	-1.7	-1.6	-0.7	-1.7	-1.2	-0.5
	指標値※	+0.2	-2.3	-1.1	-2.4	-1.5	-0.5

※指標値とは目標とする理想的な生育値であり、指標比は指標値に対する現在の生育値の割合、指標差とは現在の生育値と指標値との差である。